

# 彩小ふれあいだより

## 彩が丘グリーンネット連絡協議会

平成23年5月24日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹川 智子



5月17日(火)午後7時より、彩が丘小学校会議室において平成23年度彩が丘グリーンネット総会が開かれました。平成17年11月22日矢野西小木下あいりちゃんの事件を受けて、広島市全小学校区に「子どもの安全を守る連絡協議会」が設置されました。「彩が丘グリーンネット」は本学区におけるこの協議会の名称です。佐伯区役所区政振興課安全コミュニティ担当課長高橋正弥様と西警察署河内駐在所巡査保高正行様の参加もありました。連合町内会、体育協会、青少協、防犯組合、彩が丘PTA等、学区20団体、4施設(小学校・公民館・児童館・区役所区政振興課)で構成されています。

『気長に、気楽に、無理なく』をスローガンに、青パト、パトロールによる犯罪抑止効果を高める活動の他に、自宅前や近くの通学路に出て、児童・生徒の登下校時の見守り活動を平素の生活の中で行っています。一昨年からは、PTA組織に「防犯係」位置づけられました。PTA防犯係は、毎日低学年の下校時間合わせて、毎日交替で2～3名が見回りを1時間ほどしています。

それぞれの代表者の自己紹介と構成数、活動内容の紹介があり、その後、子どもの安

全を守るために意見交流や協議が活発になされました。主な意見としては、登校時間帯の車のスピードが速く危険を感じる事。登校中駐停車してある車が児童の見通しを妨げている事。子ども 110 番の家の役割やその意義。遙花団地の児童の見守りについて。活発なたくさんの意見が出されました。

この会の目的は、1 地域ぐるみで温かい心と明るいあいさつで心が響きあい、安心して暮らすことができるまちづくりに努めること。2 小学校区の子どもの見守り活動を充実・強化すること。3 地域が一体となり連携を図ることにより、安全を脅かす出来事を未然に防ぐことです。このような会での協議を経て、地域ぐるみでの彩が丘っ子の見守り活動がすすめられているのです。

